



2022年3月24日 第2468回例会
3月第4例会



RIテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

本年度会長テーマ「新しい風と微笑みを」



「水 と 衛 生 月 間」

◆ 会長時間 ◆

梶本会長



本日国際奉仕部門のクラブ
フォーラムで、国連ユニター
ル広島事務所長 隈元様にお
話をいただきますので、国連
とロータリーの関係をお話し
します。

国連との協力のルーツ

第二次世界大戦後の国連発足まで遡りますが、
1942年、21カ国のロータリークラブが参加して
ロンドンで会合が開かれ、教育、科学、文化を向
上させるためのアイデアが検討されました。今日、
ユネスコの名で知られる「国際連合教育科学文化
機関」は、この会合がきっかけとなって発足した
ものです。

また、ロータリー代表は、1945年の国連憲章の
草案作成に関与し、冷戦によるイデオロギー戦争
が始まるまで国連を強く支援していました。その
後、政治的な関与を避けるロータリーの方針のため、
国連におけるロータリーの参加は低下しました。

その状況を打破したのが、1980年代に始まった
ポリオ撲滅活動です。ポリオ撲滅を共通の目標と
して、ロータリーは、世界保健機関（WHO）と
ユニセフとのパートナーシップを結びました。ポ
リオ撲滅キャンペーンが、ロータリーの存在を再
び確立するための一大要因となりました。

国連とロータリーの関係を再構築する上で、

ニューヨークのロータリアンSylvan Barnet Jr.氏が
重要な役割を担いました。国際広報分野のパイオニア
である同氏は、広報スキルと国連への関心から、
当時のロータリー会長だったチャールズ・ケラー
の目に留まり、国連経済社会理事会（ECOSOC）
におけるロータリーの諮問役的役割を確立するた
めの役割を任されました。

彼は、自分の力で一からすべてを積み上げ、今日
の国連との関係を築いてくれました。

近年では、環境、保健、教育、人権に関する課
題が国連での議論の大半を占めるようになるにつ
れ、国連ではNGOの存在が際立つようになりました。
母子の健康、水と衛生、教育といった分野にお
けるロータリーの影響力も高まり、現に国連ミ
レニアム開発目標は、ロータリーが掲げる目標と
多くの部分で一致しています。ロータリーはいち
早く、SDGsに取り組んでいたことになります。

さて、ウクライナの状況とロータリー財団の対
応をお知らせします。

ウクライナ危機により、民間人の避難が余儀なく
され、深刻な人道的影響が出ています。国連難民
高等弁務官事務所によると、3月21日現在339万
人以上（その大半は女性と子ども）が近隣諸国と
ヨーロッパ全域に避難し、ウクライナ国内の避難
民も約650万人に上っています。

ロシアの侵攻前の人口約4,200万人の4分の1が
避難を強いられています。

難民に食糧、水、医療、シェルターを提供する
ため、欧州や世界各地のロータリークラブとロー

ターアクトクラブが、周辺地域の会員とともに迅速に支援活動に乗り出しています。

ウクライナ

ウクライナには62のロータリークラブと6の衛星クラブがあり、その会員数は約1,100人です。また24のローターアクトクラブがあり、その会員数は300人以上です。現状は不明ですが…

- 第2232地区（ウクライナとベラルーシ）は、この危機の影響を受けた人びとを支援するための委員会を結成しました。委員会は、生活必需品を確保するための募金に乗り出し、世界中のロータリー会員に支援を呼びかけています。
- リヴィウ市には、ウクライナの他の都市からの避難民が流入しています。リヴィウ・インターナショナル・ロータリークラブは、地方自治体や主要病院と協力して、避難民がアクセスできる救援物資のオンラインリストを作成しました。寄贈物資を病院に届け、現地の倉庫で保管するための手配は、会員たちが行っています。

現在、キエフなど主要都市で物流が滞っているので、水不足が発生している。井戸が多いが、戦時中のため人が標的にされ衛生面でも問題がある。

ポーランド

ポーランドは205万人以上の難民を受け入れており、国内のロータリークラブが寄付の窓口となる口座を開設しました。

ウクライナと国境を接するそのほかの国

- ハンガリーのキシュバールダ・ロータリークラブは、募金を取りまとめ、会員総動員で生活必需品を寄贈し、難民たちに届けています。
- ルーマニアとモルドバのロータリー会員は、寄付の窓口となる基金を設置し、食糧の寄贈や難民の宿泊手配を行うためのWhatsAppグループを立ち上げました。
- スロバキアとチェコ共和国では、クラブが鉄道・貨物会社と提携し、約2,300人の難民の移動手段を提供しています。

次に、ウクライナへのロータリー財団の対応についてお話をします。

深刻化するウクライナでの人道的危機への対応として、ロータリー財団は現在、ロータリー地区が実施している救援活動を支える資金を世界中の人が寄付することのできる正式な窓口として、災

害救援基金を指定しました。

これに伴い、ロータリー財団は以下を承認しました。

- 現在から2022年6月30日まで、ウクライナと国境を接する指定ロータリー地区とウクライナ国内のロータリー地区は、災害救援基金から各地区5万ドルまでの補助金を申請できます。迅速な手続きが行われるこれらの補助金は、水、食料、シェルター、医療品、衣服といった救援物資を含め、この危機による難民や被災者の支援に利用できます。
- 上記の期間、難民やそのほかの被災者への支援を希望する、影響を受けたほかのロータリー地区も、災害救援基金から25,000ドルの補助金を申請することができます。
- 現在から2022年4月30日まで、ロータリー地区は未配分の地区財団活動資金（DDF）を災害救援基金に充て、ウクライナと関連する人道的補助金を支援することができます。
- ウクライナでの救援活動を支援するための災害救援基金へのご寄付は、2022年4月30日までにを行う必要があります。
- ロータリー財団を通じた支援は災害救援基金が主な窓口となりますが、ロータリークラブとローターアクトクラブもウクライナでの人道的危機に対して独自の支援を行うことが奨励されています。

今回、第2710地区からの支援依頼期間が短いのは、緊急性を重視しているためです。

災害救援基金を通じた支援に加え、財団はパートナー団体や地域リーダーと協力し、増加する人道的ニーズへの効果的なソリューションを模索しています。

- 国連難民高等弁務官事務所（米国）と協議し、ウクライナや近隣諸国で行き場のない人びとのニーズに対応するための準備を進めています。
- 災害救援におけるプロジェクトパートナーであるシェルターボックスは、東欧のロータリー会員と連絡を取り、一時的な住居やほかの必要物資の提供方法について検討しています。
- 「難民、強制退去者、移住者のためのロータリー行動グループ（The Rotary Action Group for Refugees, Forced Displacement, and

Migration)」は、この危機への対応としてグループのリソースを集結させています。

以上、東欧のロータリークラブの活動状況とロータリー財団の支援についてですが、今後、当クラブにおいては、難民支援や孤児への援助など長期的な目線で支援を考えていきましょう。

最後に、4月3日に開催される「ロータリー奉仕デー」in 宮島において、環境・疾病予防・平和の有難さなどを考える貴重な機会となるようにいたしましょう。

村重 紀構 君 退会挨拶

本来であれば、本日皆様の前で退会にあたってのご挨拶をさせていただかなければなりません、このようなかたちでのご挨拶になりますこと、誠に勝手ではございますが申し訳ございません。約1年半前に入会させていただき、入会時の挨拶がまだ頭に残っております。

地域の方々と交流しながら、自己研鑽に努めるという話をさせていただいたばかりですが、今回業務の都合上やむなく退会することをお許しください。

入会時にお世話になりました、諏訪(昭登)様、古本様、本当にありがとうございました。

短い間でしたが、広島西ロータリークラブに入会しなければ、お近付きになれない皆様に出会えたことを本当にうれしく思っております。

まだ先の話ですが、私自身さらにひと回りもふた回りも大きくなり必ず広島西ロータリークラブへ再入会させていただきたく思っております。その時は何卒よろしく願いいたします。

最後になりますが、この歴史と伝統のある広島西ロータリークラブが益々繁栄されることをお祈りいたしまして退会の挨拶とさせていただきます。

令和4年3月24日

会務報告 松岡(輝) 幹事

 次週31日の例会は休会となっておりますので、お間違えのないようお願いします。

 4月3日の「ロータリー奉仕デー」in 宮島はクラブジャンパーまたはクラブベストを着用してご参加いただきますようお願いいたします。紛失された方は事務局にて在庫限りで購入可能です(ジャンパー3,500円、ベスト2,500円)。

委員会報告

プログラム・出席委員会

出席報告 村上(健)副委員長

本日(3月24日・木曜日)

会員数	88名	出席者	57名
欠席者	31名	ご来客	1名
ご来賓	0名	ゲスト	0名
		計	58名

2022年2月24日・木曜日の例会

出席率 100%



藤田 千加子 次年度会報雑誌・広報委員長

次年度の会員名簿等作成のためBOXに会員名簿等確認のお願いを入れておりますので、ご確認の上、事務局まで提出をお願いします。

同好会報告

バイオレッツ 土井主将

先週19日に呉二河球場において3年ぶりのガバナー杯が開催されました。監督の坂田は退院はしましたが肺炎で自宅療養中。発表予定の柴田マネージャーには陽性反応がでましたので、私が代わりに報告させていただきます。

初日の第一試合でしたので、杉川ガバナーの始球式の後、プレーボールとなりました。初戦は呉東RC戦でしたが、エース穴戸の頑張り、若手の打棒で18対1の快勝となりました。特筆すべきは、助っ人として参加してくれた中村 光治君が、初打席初ヒットでMVPをとり、トロフィーを獲得したことです。その代わりバイオレッツに入部させられたのは言うまでもありません。

2回戦は強豪広島北RCでしたが、1回戦のハッスルが影響し、10対0の完敗となりました。やはり若い人の多いチームが強いようです。

年中メンバー募集しております。野球を肴に飲みましょう！



● 会員記念日



奥様お誕生日おめでとうございます。

(5名)

吉井君	和子夫人
森信君	信子夫人
藤田(明)君	千春夫人
井原君	裕子夫人
小宇羅君	裕子夫人



2月決算月おめでとうございます。

(7名)

村上(健)君	㈱中和商会
吉田(浩)君	㈱セルモ
村上(智)君	㈱フジセンイ
香川(基)君	㈱福屋
古屋君	㈱ホロン・㈲エス・ティ・ケイ
諏訪(昭浩)君	㈲諏訪
諏訪(昭登)君	㈲諏訪



● スマイルボックス

SAA 大植副委員長

😊 小下さん (自主申告・大枚)

先週限りで退会された小下さんですが、例会終了後、スマイルに大枚をご出宝され、例会場を後にされました。

「広島西RCの皆さんとのお別れは本当に残念です。短い間でしたがありがとうございました。また機会があれば交流させてください。」と仰っていました。

小下さんの新任地での今後のご活躍とご健勝を心より祈念したいと思います。

😊 松岡(輝)君 (自主申告・大枚)

このたび弊社が「令和3年度 食品衛生優良施設 広島市保健所長表彰」をいただきました。

近年食品業界を取り巻く環境は、原材料始めコスト高で厳しい状況が続いておりますが、この受賞を機に今一度気を引き締めて精進してまいります。今後とも皆様からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

プラス(スマンボックス?) 実は先週の例会日が結婚記念日でした。先週いただいたANA食事券で早めにご機嫌をとっておきます!

😊 中岡君 (自主申告)

金の販売価格が高騰し、3月9日に8,402円の史上最高値を付けました。現在でも高値の状況が続いています。

ナカオカでは、皆様の金の現物を買取りいたします。ネックレス、指輪など何でも結構です。是非店頭までお持ちください。よろしくお願いいたします。

● スマンボックス

😊 穴戸君

3月19日のガバナー杯2回戦、広島北RCとの試合においてファールボールを連発してしまいゲームを壊してしまったこと、申し訳なくスマンボックスに出宝いたします。

■ 国際奉仕部門クラブフォーラム



国際社会奉仕委員会

川 妻 委員長

本日は国際社会奉仕部門担当のクラブフォーラムです。

2月は平和構築と紛争予防月間でしたが、くしくもロシアのウクライナ侵攻が勃発してしまいました。本日はユニタールが関わっている地域の中からアフガニスタンを中心にお話を伺います。広島西RCとして平和や紛争予防に役立つ教育に何かご協力できることはないかなど、会員の皆様と考えていきたいと思っています。

本日卓話をいただきますのは、ユニタール広島事務所 所長であります隈元 美穂子様です。

隈元様のプロフィールですが、福岡の高校を卒業後、ウェストバージニア大学をご卒業後帰国。九州電力に勤務されたのち、再び渡米しコロンビア大学で修士課程を取られました。2001年から国連に勤務。2014年1月より広島事務所所長に就任、2019年より持続可能な繁栄局局長を兼務されています。

広島西RCとのご縁は、2017年にユニタールへ元広島市長でありました故 浜井 信三氏の著書「原爆市長」の英語版を寄贈。2018年、南スーダンでの研修のためにパソコンやプリンター・カメラを寄贈。そしてこのたび、広島県内の女子高校生を対象にしたWaffle Camp×SDGsのワークショップと公開セミナーを一緒にさせていただきました。

本日は「国連の視点から見たアフガニスタンにおける現状と今後」と題しまして卓話を頂戴したいと思います。

隈元様 よろしくお願ひいたします。



国連ユニタール広島事務所長兼持続可能な繁栄局局長 隈元 美穂子氏に講演をいただきました。

最初に国連ユニタールに関する紹介をいただきました。国連ユニタール広島事務所は、2003年に設立され、商工会議所ビルに事務所を構えており、同ビルの屋上に国連旗が掲揚されています。中四国の中で唯一の国連機関です。また広島西ロータリークラブとユニタールの関わりについても紹介がありました。

現在世界的に抱える課題の中で、3つ（パンデミック、気候変動、格差）について話をされました。パンデミックについては、世界中で感染者が発生しており、WHOの発表では、約1,144万人の感染者、約254万人の死亡者であったのが、感染者は約4倍の4,648万人、死亡者は約3倍の606万人に達している。各国において対応しているが、単独での対応には限界があり、各国において協力して解決していくべき問題であることを訴えられました。

また気候変動に関しては、産業革命時からの気温上昇を1.5度に抑えるための取り組みをしなければならないが、現状では到底困難であると、予測グラフを用いて説明されました。気温上昇により、異常気象が発生するほか、植物にも影響し、これ

は農作物にも影響することで、食糧問題も深刻になることなど、その影響の大きさに思いをいたすと、気温上昇について真剣に考えることの必要性を訴えられました。

そして格差についても、先進国と発展途上国との間の格差、また国内的には宗教、民族、人種、出身、地域、性別等の格差問題があり、これらへの対処についても必要であるとの話でした。

最後に、国連ユニタール協会についての話をされ、先日のワッフルキャンプの開催や、為末 大氏が親善大使を務められていること、2022年2月1日から、佐々木茂喜氏が理事長に就任されたことの案内もされました。

(国際交流・姉妹クラブ友好委員会 委員長 小田 清和)



クラブフォーラムでの意見のまとめ

隈元氏の講演後、4テーブルに分かれ、広島西ロータリーとして、アフガニスタンなどに対し、どのような国際奉仕活動ができるのかについて話をいただきました。それぞれのテーブルでの協議内容を発表していただきましたので、その内容を報告します。

第1テーブルでは、正しい情報を収集して現地のニーズもしっかり収集し、何ができるかを考える必要がある。またロータリアンとしてニュートラルな立場で考えることが必要である、といった意見が出ました。

第2テーブルでは、正しい情報を収集し中立的な立場で考えることが必要である。希望に応じることも必要だが、内容を吟味する事も必要で、自己満足の支援になってはいけない。専門的な視野を持って見ることも必要。子供に対する教育などできないかといった具体的な意見も出たようです。

第3テーブルは、支援は押しつけになりがちなので、現地のニーズを正確に把握し、必要とされ

る支援を行うこと、そのためにはユニタールなどの他団体、RIのネットワークを活用すべき。また貧困ループから抜け出すためには教育が必要なので、教育支援もあるのではないかと。相互理解を深めるためには、差別意識を払拭できるようなことを考えるとどうかといった意見が出ました。

第4テーブルでは、正確な情報を収集することが必要で、ニーズを聞いてみることも必要。また西ロータリーとしてできることには限界があり、小さなことでもよいから継続的に実行できること、また現地とのキャッチボールができるようなことができれば良い。ポリオが残っているのもそのための何か、衛生面に関する支援、専門的見地からできることを寄せ集めて検討すると良いのではないかとといった意見も出ました。

これからも関心を持って情報を集め、何ができるかについて検討を続けていくことが必要であるということは、共通認識として持っているとということがわかりました。



● 卓話予告

日時	テ　　マ
4/14(木)	東京バリアフリーマインドRCの創設について 東京バリアフリーマインドロータリークラブ 会長 高田 修 氏



ただ今、夢中♡



グランピング

私は今、グランピングに夢中です。写真は私の世羅事業所に作りましたドームテントです。グランピングとは贅沢にアウトドアを楽しむ新しいスタイルのことを言います。皆さん、一緒にいかがですか？



中村 光治
令和2年4月2日入会

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 梶本 政明
幹 事 松岡 輝明

広島西RC 検索
事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会